

## 令和5年度ちばコラボ大賞 1次審査通過事例

惜しくも表彰とはなりませんでしたが、とても素晴らしい活動に取り組まれている事例をご紹介します。

### ■ 里見のまちづくり事業

#### 【活動の概要】

「南総里見八犬伝・里見氏」を観光商品としていくため、地域内外で連携し、個々の得意分野を活かしたナイトタイムコンテンツの推進、バスやタクシーのツアーなど、館山市独自の地域資源を活用したイベントなども開催し館山らしさを広め、地域の持続的な経済活動を促進しています。



#### 【実施団体】

里見のまちづくり実行委員会、千葉大学デザイン文化計画研究室、千葉県立安房高等学校書道部、甲冑里見サークル、館山市観光みなと課

### ■ 初夏のアクティブフェスティバル

#### 【活動の概要】

市外からの移住も多く人口増加傾向にある「流山市」、新しいコミュニティ形成や地域活性化のために、流山おおたかの森駅にある「森のまち広場」を活用し、市民活動団体・企業・学校・行政等の多様な団体が力を合わせてイベントを開催しています。



#### 【実施団体】

東神開発株式会社、流山市民活動推進センター、NEC グリーンロケッツ東葛

### ■ kodotomo クリエイト 子どもと共に創るまち

～ヤングケアラーへの理解を深め、子どもが子どもらしくいられるまちへ～

#### 【活動の概要】

ヤングケアラーをはじめ、声をあげられない、声を歪められ困難を抱える子どもたちを寄り添いながら、課題解決できる仕組みの構築をするために、行政と市民が共通認識を形成しながら具体的な支援につなげていくことを目的に勉強会シンポジウムを企画しています。



#### 【実施団体】

肢体不自由児きょうだいの会 ぞうさん組、HSP/HSC リンクパートナー「Heart Smile Present」、オムソーリ・プロジェクト、浦安市、浦安市教育委員会、浦安市地域包括支援センター、浦安市子ども家庭支援センター、浦安市社会福祉協議会、スマイルこども食堂浦安

その他詳細は、千葉県ホームページ「ちばコラボ大賞」をご覧ください。

<https://www.pref.chiba.lg.jp/kkbunka/collabo/index.html>

令和6年2月 編集・発行

千葉県環境生活部県民生活課 〒260-8667 千葉県千葉市中央区市場町 1-1

TEL : 043-223-4133 FAX : 043-221-5858 E-mail : npo-vo@mz.pref.chiba.lg.jp



# ちば コラボ 大賞

## 第13回



チーバくん



## 表彰事例の紹介

県内には、福祉や環境、子育て、まちづくりなどの様々な分野で、市民活動団体や企業、学校、地縁団体、行政機関等が連携して、それぞれの特性を活かしながら地域の課題解決に取り組むことで、成果をあげている事例がたくさんあります。

県では、そのような連携事例の中から、他のモデルとなるような優れた事例を「ちばコラボ大賞（千葉県知事賞）」として表彰しています。

第13回目となる令和5年度は、県内各地から27件の応募があり、審査の結果、2件を表彰事例に決定しましたので御紹介します。



# 千葉県

## 表彰事例①

### 食べて応援! SDGs 一口やきいも ～食品ロス削減 規格外野菜が美味しく変身!～

#### 【活動の概要】

「食べて応援! SDGs 一口やきいも」は、持続可能な食品ロス削減に取り組む企業が農協・食品加工会社と連携し、農家が廃棄する予定の規格外のさつまいもを、美味しく食べられるひとくち焼き芋に加工し、商品化しています。

また、子ども食堂や保育園に、フードロス食材やお弁当を提供して食育を行うと共に、売上の一部を使い、児童養護施設にランドセルを寄付するなど、子どもたちへの支援にも繋がっています。



#### 【評価のポイント】

捨てられるはずの規格外野菜を加工・商品化し、食品ロスを削減するSDGsの取組は、扱う食材や販売地域の広がりなど他のモデルになる地域課題解決に向けた事例です。

さらに、子どもたちへの食育や支援につながっていることも高く評価されました。

#### 【実施団体】

株式会社シブヤ、かとり農業協同組合、合同会社キュービックプランニング

## 表彰事例②

### パラスポルト大会 ～パラスポーツをやってみよう～

#### 【活動の概要】

「パラスポルト大会」は、NPO法人を中心に各競技団体や行政・企業等と連携し、日頃パラスポーツに関わりの少ない地域の方々に障害やパラスポーツへの理解を深めることを目的に、気軽にパラスポーツを体験できるイベントを開催しています。

障害の有無に関わらず、住んでいる地域で楽しみながらレクリエーションやスポーツに親しむ環境を創り出しています。



#### 【評価のポイント】

NPO法人を中心に、各団体と連携を取りながら、障害者・健常者がともに楽しんで、スポーツに触れる機会を提供していることや、地域のイベントとして定着しているだけでなく、他地域や競技団体同士のつながりも生まれた連携事例であることが高く評価されました。



#### 【実施団体】

NPO法人成田スポーツアカデミー、成田市、成田市教育委員会、千葉県障害者スポーツ・レクリエーションセンター、公益財団法人ノエビアグリーン財団、千葉県障害者フライングディスク連盟、一般社団法人日本スポーツウェルネス吹矢協会富里支部、市原ポッチャクラブ、一般社団法人SLDI

## 表彰式

令和5年12月22日にホテルプラザ菜の花で令和5年度ちばコラボ大賞表彰式を開催しました。井上環境生活部長からは、「受賞された事例は、連携により新しい発想や大きな相乗効果が期待できるすばらしい取組でした。」とのメッセージが送られました。



#### <審査委員長からの講評>

いずれも新型コロナウイルスで大変な時期に、地域を巻き込みながら協働の力を発揮し、他のモデルとなる発展性も感じられた取組でした。こうしたコラボが、千葉県全体に広まっていくことを期待しています。



審査委員長  
鎌田 元弘 氏

## スケジュール

※令和6年度の募集も、6月頃から開始する予定です。

6月～ 8月 連携事例の募集

9月～ 10月 事務局による1次審査

10月～ 11月 審査委員による2次審査

12月 表彰式

千葉県ホームページ「ちばコラボナビ」では、県内の市民活動団体と様々な主体が連携・協働して地域の課題解決に取り組んでいる事例の他、協働の主体となる団体等の情報も併せて紹介していますので、よろしければご覧ください。

